

市立小中学校 適正規模・適正配置 検討に係るご意見について

砂川市教育委員会では、全国的な少子化の影響や、市立小中学校の児童生徒数の減少を鑑み、いずれも標準的な学級規模にないことなどを理由に、平成30年度から市立小中学校の適正規模・適正配置の検討を開始しました。

これに伴い、市立小中学校の変遷や現状、近年の出生数、児童生徒の将来推計等を整理した資料を昨年8月に取りまとめ、検討に際しては、関係する組織や諸団体の皆様をはじめ、広くご意見をお聴きした上で、今後の方向性を見出すことが必要かつ望ましいと考え、「検討資料」をホームページで公開した後、「意見を聴く会」を随時、開催してきました。

本稿では、この間開催しました「意見を聴く会」に寄せられました、ご意見についてご紹介いたします。

なお、今後は皆様のご意見を尊重しながら、方向性について議論を進めてまいります。

市立小中学校 適正規模・適正配置 「意見を聴く会」

開催期間

平成30年10月～平成31年1月

対象団体・組織

- ・社会教育委員 ・事務事業外部評価委員 ・砂川市PTA連合会
- ・砂川市立保育園保護者の会 ・砂川天使幼稚園父母の会 ・砂川市手をつなぐ育成会
- ・砂川地区ことばを育てる親の会 ・砂川市子育て支援センター
- ・砂川市町内会連合会 ・砂川商工会議所 ・砂川青年会議所

主なご意見

1 「検討の方法・考え方等」

- ① 行政主導ではなく、地域をはじめ色々なところから声を出してもらうことが必要。
- ② 経験から、統合議論の説明は丁寧に行うべき。
- ③ 始めからゴールありきで検討を行うのは後々問題を引き起こす。
- ④ ビジョンを示し、それぞれメリット、デメリットをしっかりと伝えるべき。
- ⑤ 具体的な案があって、デメリットを補完する議論でなければ前に進まないのでは。
- ⑥ 方針がない段階で意見をするのはなかなか難しい。
- ⑦ 具体的な方針が示された段階で、改めて意見を聴いて欲しい。
- ⑧ リーダシップとビジョンがないとなかなか進まないのではないかと。
- ⑨ 資料は6年後になっているが、10・20年先を見越した考えをもつ必要もある。
- ⑩ 数値的なものは理解するが、市としてどういう子どもを育てていくかが大事。
- ⑪ 説明会は、現場の内部事情に精通した先生の声があった方が良いのでは。
- ⑫ ある程度の目途は立てるべき。議論を延々と続けてもどうかと思う。
- ⑬ 適正配置は色々条件を考えると第1段階として中学校というのはあり得るのでは。
- ⑭ 先が長いので、自分の子どもが対象になるかどうかで意見も違ってくるのでは。
- ⑮ お母さんたちの声をしっかりと受け止めて作業をして欲しい。
- ⑯ 未就学児がいる保護者の方が熱心だと非常に心強い。
- ⑰ 子どもたちがいい環境の中で育てて欲しい、それが一番だと思う。
- ⑱ 子どもたちが幸せな教育が受けられるよう、皆で考えるべきだ。
- ⑲ 皆が一つの目標に向かい、気概が生まれるキャッチフレーズみたいなものが欲しい。
- ⑳ 適正配置は、いい学校をつくるチャンスだと思うのでこの機会を活かしたい。
- ㉑ 互いの希望を叶えるような、より良い砂川の教育のあり方をつくって欲しい。
- ㉒ 情報は末端まで届くよう、ホームページ以外の仕組みも考えて欲しい。

2 「学校規模」関連

- ① 現状や将来的なことを考えると、学校統合は避けては通れない。
- ② 児童数の減少が進むことを考えると統合はすべき、または統合せざるを得ない。
- ③ 子どもたちの少なさに驚愕した。将来的に見て現状維持は考えにくい。
- ④ 管内の児童数の減少も見て、やはり行く行くは、統合は避けて通れないと思う。
- ⑤ 市の将来的な人口を考えると、今の学校体制は維持できないだろう。
- ⑥ 子どもたちが減る現状を考えると、小学1校、中学1校にするほかないのでは。
- ⑦ 統合しなければならないという現状認識は皆持っていると思う。
- ⑧ 学力や精神の成長を考えると一定の規模は必要である。学校は友達づくりも重要。
- ⑨ 大きなコミュニティの中で、多くの人と接しながら育っていく環境が望ましい。
- ⑩ 適正配置により学校統合となる場合は、新校舎を一つ建てて欲しい。
- ⑪ 将来的なことを考えると、大きい学校を建てて1つにした方が良いように思う。
- ⑫ 20年先を見越して、学校を一つにして新校舎を建てるのが一番ではないか。
- ⑬ 統合する場合、どこの校舎を使うかは意見が分かれる。新校舎の建設は可能か。
- ⑭ 学校を大きくすることは賛成だ。いずれかは小中も統合した方が良く思う。
- ⑮ 学校が一つとか大きくなれば、幼保小連携がよりスムーズになるのでは。
- ⑯ 幼保でできた友達が小学校で散ってしまう。そのまま上がる環境があると安心。
- ⑰ 学校統合は距離的（行政面積）には問題ないと思う。集約するのはいいと思う。
- ⑱ 小さい集団より大きい集団で過ごす方が社会に適応しやすいとは思う。
- ⑲ 大事にされるのが適正な数ではない。狭い範囲しか経験できないのは適正でない。
- ⑳ 大きい学校になっても先生は子どもたちのことをしっかり覚えているもの。
- ㉑ 男女比が偏り過ぎている学級がある。1クラスではその調整ができない。
- ㉒ クラス替えは新たな人間関係もでき、状況により子どもを守ることになるのでは。
- ㉓ 大きい集団に慣れないと、グループの話し合いで活発に意見を出しづらくなるのでは。
- ㉔ 優秀な子どもも数に負けるというか大きい集団に馴染めず、成績が下がるケースもある。
- ㉕ 砂川は条件的に小さい学校にしかならない地域ではない。少しの工夫で変わる。
- ㉖ 人数によって中学校の部活動の選択肢が制限されるのは可哀そうに思う。
- ㉗ 規模により授業に差が生じるのは問題。保護者としては同じ教育を受けさせたい。
- ㉘ 学校規模によって運動会や学芸会に差が生じるのはどうかと感じる。
- ㉙ 複式学級のメリットは理解するが、複式学級はどうか避けて欲しい。
- ㉚ 小さい学校のメリットもあるが、実際に複式になるとしたら親は心配になるのでは。
- ㉛ 統合した際は、縮減された経費分をしっかりとその後の教育の充実に充てて欲しい。
- ㉜ 大規模の方がクラス替えもできて良いと思うが、集団が苦手な子の対応は必要。
- ㉝ 小規模校から中学校へ進学した際の不安の声は保護者から聞いたことがある。
- ㉞ 少人数のクラスから大人数のクラスになるのは不安に思う。
- ㉟ 小学校を統合するなら、最初は2校とか段階的に行っても良いのでは。
- ㊱ 学校統合は地域を衰退させるのではないか。現状維持はできないものか。
- ㊲ 統合は子どもたちの移動等で保護者の負担が増加するのでは。
- ㊳ 統合するにあたっては、校区の見直しは絶対必要だと思う。
- ㊴ 適正配置は結局「一つにまとめてしまえ」的な部分があるのではないか。
- ㊵ 子どもクラブなどを考えたら、統合により行政に振り回される感じがする。
- ㊶ イメージとして素朴な感じもあり、1学年1学級が悪いのかっていう思いはある。
- ㊷ 少人数の学校の方が、教師が手厚い指導をしているイメージがある。
- ㊸ 小規模校だからこそ皆仲良くなり、安心して学校に通わせられると思う人もいる。
- ㊹ 人数が多い方がいいと思うときもあるが、小規模のメリットも良いと思う。
- ㊺ 小さな学校の手厚さを、どう教育活動として提供できるか市全体で考えるべき。
- ㊻ 児童数の多い学級は教室が狭く感じる。先生の日も行き届かなくなり不安である。
- ㊼ 大規模校となっても先生がしっかりと対応するということが保護者にとって重要。
- ㊽ 日々の学校生活の中で、より教員の目が行き届く環境にある方がいい。

3 「学校教育」関連

- ① 目的は一つ。子どもたちの幸せを願い、勉学により良い教育環境をつくることだ。
- ② 学校間の学習交流を進めるべき。子どもが多い方が成果のある授業もあると思う。
- ③ 学習交流を進めることで、子どもたちも大きい集団になることへの自覚ができる。
- ④ 子どもたちが社会に出ることを考え、適正な教育環境の中で育てるのが大事だ。
- ⑤ 子どもがやりたいこともできない環境にあることは適正ではない。
- ⑥ 小中一貫校のことは、あまり聞いたことがなかったが、メリットが多いと感じた。
- ⑦ 小中の繋がりとあると、より良いシステム、環境が整備されていくのかなと思う。
- ⑧ 小中一貫教育は、小学生が中学の先生から指導を受けられることもできるのでは。
- ⑨ 小中一貫教育は、小学校の先生が部活動の応援に行くことも可能になるのでは。
- ⑩ 小中一貫教育は、方向性が決まってから、再度細かい説明や議論をすべきである。
- ⑪ 小中一貫教育によって、高校まで連携できれば最高である。
- ⑫ 小中一貫教育を進めれば、子どもたちは皆、平等な教育を受けることができる。
- ⑬ 小中一貫教育は、教育課程において色々な工夫ができる有効な手段だと思う。
- ⑭ 小中一貫教育を実施するなら、小中1校ずつとし、併設型か一体型に整備すべき。
- ⑮ 小中一貫教育は、教員の負担も軽減されるのではないかな。
- ⑯ 小中一貫教育は、いいと思う。早く取り組みができなかったのかと後悔してしまう。
- ⑰ 小中一貫教育は1校になるまで待つのか。早めに準備など手を付けた方がいい。
- ⑱ 義務教育学校は、中1ギャップ等の解消や幼保連携にも有効だと思う。
- ⑲ 幼保の段階で小学校に繋がる機会があれば、スムーズにスタートが切れるのでは。
- ⑳ 転勤族が多い砂川で、小中一貫教育はうまく繋がることのできるのか。
- ㉑ 3年生以上でも35人1学級にはならないのか。勉強も難しくなってくるし心配。
- ㉒ 2クラスから1クラスになるのは、学級内の人数も多くなり不安である。
- ㉓ 40人学級は、支援員などサポートする体制があれば親としても安心する。

4 「特別支援」関連

- ① 学校を集約し大きくした方が、特別支援も充実した設備・環境が整うのではないかな。
- ② 特別支援教育は学校ごとではなく、集約する形でも成果があるのでは。
- ③ 先生が身近にいる今の環境から集約するとなると、心配する声もあるのでは。
- ④ 子どもの成長につれて支援が必要になる場合もあるので、対応できる体制が必要。
- ⑤ 補助員のような先生を増やして、担任などしっかりと連携して繋げられるといい。
- ⑥ 高校に進学した際、大きい集団となるので、同じような子たちとの交流等が心配。
- ⑦ 子ども同士のコミュニケーションを考えたら、1対1がいいとは限らないと思う。
- ⑧ 中学校にも通級指導学級（ことばの教室）は必要である。
- ⑨ 統合により新校舎を建てるときは、学校内に通級を設置して欲しい。
- ⑩ 中央小にしかない“ことばの教室”が各校にあると、通う子は確実に増える。
- ⑪ 特別支援教育の充実は、しっかり図るべきだと思う。

5 「通学（スクールバス）」関連

- ① 学校統合は良いと思うが、その際は冬の環境を考え、スクールバスを導入すべき。
- ② 交通安全や不審者のことを考えるなら、スクールバスがあると安心である。
- ③ 学校が遠くなると学校の連絡等も含めて不安。スクールバスがあると安心できる。
- ④ スクールバスの運行は状況によっては通学環境が良くなるかもしれない。
- ⑤ スクールバスを導入する際は、対象距離や低学年の対応等に配慮して欲しい。
- ⑥ スクールバスは部活動や学童、放課後学校にも対応して欲しい。
- ⑦ スクールバスの送迎範囲も適正配置を考える上では気掛かりである。
- ⑧ スクールバスは確かに良いが、健康面も考慮し、きちんと運動指導をして欲しい。
- ⑨ 特別支援教室が近くなる、バス通した話を聞きスクールバスがあればと思った。
- ⑩ 学校までの距離が遠く、今の状況でもスクールバスが欲しい。
- ⑪ 低学年のときは特に、国道や踏切を渡らせるのは心配。地域目などがあれば。

6 「校舎（現校舎）」関連

- ① 教育環境の平均化は凶った方が良い
- ② 教室が狭く、大人数になると参観も難しい。教室を広くして欲しい。
- ③ 古い校舎でも耐震化はされており、安全性は保たれ心配はしていない。

7 「その他」

- ① 地域から学校がなくなるのは、正直寂しい。
- ② 地域には学校も子どもも身近にいて欲しいが、そんなことは言うべきでないと思う。
- ③ 先の統合で“私たちの”“地域の”学校という意識・感覚は薄れているのでは。
- ④ 放課後学校などから、各地域の学校への係わり方や考え方が全然違うと感じる。
- ⑤ 仮に統合したら校舎再利用や避難所等の問題を管理含め考えなければならない。
- ⑥ 最終的には経済的な面も計画作成の中心になっていくものとする。
- ⑦ 子どもが減る中、地域の疲弊を回避する方策を考える方が重要ではないか。

まとめ

この度、学校の適正配置の検討に際しては、子どもたちにとって、より良い学校・教育環境を提供するには、先ずは関係する団体・組織の皆様より多様なご意見をお伺いすることが望ましく必要なことと考え、「意見を聴く会」を開催してまいりました。

「意見を聴く会」では、「日頃から教育について考えていることも含めて、自由にご発言を賜りたい」とし、具体的な方向性などは示さず実施したことから、意見を述べるのが難しいとする声もございましたが、皆様のご協力により、多くのご意見が寄せられたところでした。

主だった点では、「検討の方法・考え方等」では、具体的な案を示すべきとする一方で行政の考えが先行するやり方は好ましくないとするなど様々でしたが、共通的な部分として、子どもにとって良い環境を整えることが大切であり、色々な声を聴きながら皆で考えていくべきとするご意見、考え方が大勢でした。

また、「学校規模」の関係では、児童生徒数の将来的な動向や、学校の教育環境を鑑みて、学校を集約する方向でのご意見が多い傾向、雰囲気にはありましたが、小規模校のメリットを考慮すべきとするなどのご意見もあったところです。

この他、「学校教育」では、小中一貫教育に多くの関心が寄せられ、質問も兼ねたご発言の多くは、幼・保・小連携含め、導入には肯定的なお考えを示されたものでした。「特別支援教育」では、中学生に対する通級指導学級の実施をはじめ、子ども同士のコミュニケーションの確保など充実した体制整備に関するご意見が寄せられたところです。

いずれにしても、今回、皆様から寄せられたご意見は、総じて、子どもたちの健全な成長を一義に考えられており、教育に対する想いと意識の高さが窺える大変貴重なものとなりました。

今後は、お寄せいただいたご意見を尊重しながら方向性を見出し、子どもたちにとってより良い教育環境が整えられるよう努めてまいりたいと存じます。

平成31年2月

砂川市教育委員会